

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	不育症治療費助成事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-⑨	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども政策課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	こども健康係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	321	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		開始年度	H25	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		終了年度		事業分類	現金等給付事業
	施策	1	こどもの健やかな成長と子育て支援					
			根拠法令、条例等					
			佐野市不育症治療費補助金交付要綱					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	不育治療の経済的負担軽減を図るため、医療保険適用外の治療に要する経費の一部を助成する。 ・30万円を限度に、不育症治療にかかる保険適用外の医療費の2分の1の額を助成する。 ・申請は1年度に1回とし、5回を限度とする。 ・令和3年1月1日以降に終了した治療分から、所得制限を撤廃する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	治療費の一部を補助することで、高額となる不育治療を受けやすくなる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		相談者のうち、申請した者の割合	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・不育症治療費助成事業の周知のため、ホームページ掲載(年間) ・申請を受け、書類審査・助成の決定を行い、不育症治療費の助成を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		不育症治療費補助金受給者数	人	3	1	1
		事業費計	千円	140	33	45
		一般財源	千円	140	33	45
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、不育治療を受ける行動に結びつけることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		相談者のうち、申請した者の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し		※ 10万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標			費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標			費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない						

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

不育症治療費助成の申請者は1名のみであり、治療結果としては妊娠不成立であった。事業の周知方法や助成内容について検討していく。 少子化対策の一つとして、一人でも多くの方に不育症治療に試みるきっかけにもなるよう、保険適用される場合の自己負担についても一部助成を検討していく。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業効果の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・必要な方が申請できるように、ホームページ・広報誌への掲載やチラシ配布を行い、事業周知を実施する。 ・他市の助成状況を踏まえ、助成内容や助成金額について検討する。
--	--

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	不妊治療費助成事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-⑨	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども政策課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	こども健康係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	321	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市不妊治療費補助金 交付要綱	事業期間	開始年度	H18	実施方法
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		終了年度		事業分類	現金等給付事業
	施策	1	こどもの健やかな成長と子育て支援					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険適用外の治療に対する経費の一部を助成する。 給付額：助成対象経費の1/2以内で年間15万円が限度。1年度につき1回申請、5回まで。ただし、県の助成金の助成額を控除。 助成条件：不妊治療を受け、佐野市に1年以上在住する夫婦。市税に滞納がないこと。令和3年1月1日以降に終了した治療分から所得制限を撤廃。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	治療費の一部を補助することで、高額となる不妊治療を受けやすくなる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		相談者のうち、申請した者の割合	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・不妊治療費助成事業の周知のため、ホームページ掲載(年間) ・申請を受け、書類審査・助成の決定を行い、不妊治療費の助成を行った(年間)。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		不妊治療費補助金支給者数	人	111	82	37
		事業費計	千円	11,308	8,934	3,574
		一般財源	千円	11,308	8,934	3,574
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、不妊治療を受ける行動に結びつけることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		相談者のうち、申請した者の割合	%	84.1	83.3	74.0	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断		効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
	指標全体	効果が下がった				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

保険適用外の治療費だけでなく、保険適用となった不妊治療費の自己負担分についても助成を行っている市町村が増えている状況である。 少子化対策の一つとして、一人でも多くの方に不妊治療に試みるきっかけにもなるよう、保険適用される場合の自己負担についても一部助成を検討していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・必要な方が申請できるように、ホームページ・広報誌への掲載やチラシ配布を行い、事業周知を実施する。 ・他市の助成状況を踏まえ、助成内容や助成金額について検討する。
---	--

事業名	子宝祝金支給事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課			款	3	新規or継続	継続事業
	係	こども支援係			項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	321	名称		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		終了年度		事業分類	現金等給付事業
	施策	1	こどもの健やかな成長と子育て支援					
			根拠法令、条例等					
			佐野市子宝条例					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	次世代を担う子の出産を奨励し、豊かで活力あるまちづくりに資することを目的として、令和5年4月1日以降の第1子及び第2子の出生に対し、子1人につき3万円を支給し、第3子以降の子の出生に対し、子1人につき5万円を支給する。 ・ただし、令和5年度は特例として、第3子以降の出産に対し10万円を支給する。 ・令和5年3月31日までの子の出生については経過措置を設け、第3子以降の子1人につき10万円を支給する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	次世代を担う子どもたちの誕生を社会全体で祝福し、子育てに対する理解と支援の気運醸成を図ることにより、安心して妊娠、出産、子育てができるようにする。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
子宝祝金支給決定件数	件	128	128	770	725	720
支給決定件数/申請のあった件数	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	令和4年度までは第3子以降の子の出生に対し支給していたが、令和5年度からは対象を第1子、第2子の子の出生にも拡充した。申請期間も出生の翌日から6か月に変更した。 ・申請受付 ・審査、支給決定 ・支給決定通知書発送 ・祝金の支給 ・申請期限前に未申請者への申請勧奨
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
子宝祝金支給決定件数	件	101	103	536
事業費計	千円	10,100	10,300	24,733
一般財源	千円	5,548	300	43
特定財源（国・県・他）	千円	4,552	10,000	24,690
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	令和5年度から対象を第1子からに拡充した影響により支給件数が大きく増えている。 対象者すべてに期限内申請を促し、支給することができている。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
子宝祝金支給決定件数	件	101	103	536	値が大きいほど良い	効果が上がった
支給決定件数/申請のあった件数	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	
効果が上がった指標数	1指標
効果は変わらない指標数	1指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった	○	
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度は制度改正により対象者を拡充したため支給件数が増加したが、少子化で出生数が年々減少しているため今後は減少が予想される。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	少子化の傾向は急激に改善されるわけではないので、今後も支給対象者の申請状況を管理し、申請期限内に申請受付し、漏れなく支給する。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	とちぎ結婚支援センター運営参画事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-⑨	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども政策課			3	新規or継続	継続事業
	係	こども政策係			2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	321	名称	事業期間	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		開始年度	H28	実施方法
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		終了年度	-	事業分類
	施策	1	こどもの健やかな成長と子育て支援				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・「とちぎ結婚支援センター」は以下のことを実施し、幅広い出会いの機会の創出や結婚・交際に関する様々な相談ができる総合的な窓口である。 ①マッチングシステムによる会員登録制のパートナー探しのサポート②出会いイベント等による婚活支援③地域結婚サポーター及び企業内結婚サポーターによる婚活支援
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	出会いや結婚を望んでいる未婚者に結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		とちぎ結婚支援センター登録件数（佐野市）	件	85	85	85	86	86

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・「とちぎ結婚支援センター」に負担金を支出した。 ・ホームページで「とちぎ結婚支援センター」の周知を行った。 ・佐野で開催したイベントについて、準備等支援を行った。 ・「地域アプローチ」による少子化対策の検討内容について情報を共有した。 ・ホームページで「移動式赤ちゃんの駅」の周知を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		地域結婚サポーターの人数	人	5	4	5
		イベント等HP掲載周知回数	回	0	6	6
		事業費計	千円	202	209	217
		一般財源	千円	202	209	217
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市及びとちぎ結婚支援センターの活動の結果、登録件数の増加につなげることができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		とちぎ結婚支援センター登録件数（佐野市）	件	84	78	97	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・市及びとちぎ結婚支援センターの活動の結果、登録件数の増加につなげることができた。 ・今後も出会いから結婚・妊娠・出産につながるよう、県及びとちぎ結婚支援センターと連携し、出会い、結婚支援等の情報を発信していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	出会いから結婚・妊娠・出産につながるよう、県及びとちぎ結婚支援センターと連携し、出会い、結婚支援等の情報を発信していく。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月2日

事業名	子ども・子育て支援事業計画推進事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども政策課		款	3	新規or継続	継続事業
	係	こども政策係		項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	321	名称	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	H27	実施方法
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	終了年度	-	事業分類	直営
	施策	1	こどもの健やかな成長と子育て支援		-	事業分類	審議会等運営事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	「佐野市子ども・子育て会議」で、「佐野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況や問題点の把握を行い、計画の円滑な推進を図り、子育て環境の充実を図る
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	子どもが心身ともに健やかに成長できるような環境が整備されることの見通しが立つことにより、安心して、妊娠、出産と子育てができるようになる。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
子育てを楽しんでいる保護者の割合	%	97.3	93.0	96.0	98.0	98.0
子育てに負担等を感じる保護者の割合	%	74.0	68.0	64.0	60.0	60.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	「佐野市子ども・子育て会議」の開催 第1回 7月28日（15人出席）、第2回 2月7日（10人出席）、第1回の会議で、会長・副会長の選出、「子ども・子育て支援事業計画」における令和4年度の計画の達成状況の点検と評価を行った。 第2回の会議で、特定教育・保育施設の利用定員の設定について意見を伺った。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
子ども・子育て会議の開催	回	2	2	2
会議出席委員延べ人数	人	24	26	28
事業費計	千円	167	175	175
一般財源	千円	167	175	175
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	「佐野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況や問題点の把握を行い、計画の円滑な推進を図ることができた。 また、子育て環境の充実を図るための専門的な意見を聴取することができた。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
子育てを楽しんでいる保護者の割合	%	96.3	95.5	91.9	値が大きいほど良い	効果が下がった
子育てに負担等を感じる保護者の割合	%	70.2	78.1	83.1	値が小さいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 2指標
	指標全体 効果が下がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
費用は下がった			
費用の増減無し			○
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・会議等の運営に関しては適正に実施できた。 ・子育てを楽しんでいる保護者の割合、子育てに負担等を感じる保護者の割合等の指標を改善していくため、会議で委員から専門的な意見を聴取し、6年度策定の計画に反映していく。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 令和6年度は「佐野市こども計画」策定のため、会議開催日数は増える予定。 会議の委員からの専門的な意見等を計画に反映していく。
---	---

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	子育て世代包括支援センター（母子保健型）運営事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-⑨	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども政策課		款	4	新規or継続	継続事業
	係	こども健康係		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	321	名称	目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R2	実施方法
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		終了年度		事業分類
	施策	1	こどもの健やかな成長と子育て支援				相談事業
			根拠法令、条例等				
			母子保健法、児童福祉法、子ども・子育て支援法				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	妊産婦及び乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に保健師等の専門職が対応し、必要な支援の調整や関係機関との連絡調整をするなどして、切れ目のない支援を提供する。主な事業内容は、母子健康手帳交付時の面接、妊娠28週前後での電話相談、その他育児に関する各種相談を実施する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援により、出産、子育てに関する不安や負担を軽減し、安全・安心に妊娠・出産・子育てができる。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
妊娠届出時に面接した割合	%	100	100	100	100	100
子育てに不安がある割合（健診アンケート）	%	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・母子健康手帳交付時の面接、相談、保健指導 支援が必要な妊婦には支援プランを作成し、妊娠中から支援 ・妊娠後期（28週以降）の電話連絡、状況確認 ・電話、来所等による相談 ・生後6か月までの乳児を対象とした「うさちゃん計測室」を開催
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
設置箇所数	箇所	1	1	1
事業費計	千円	3,257	3,176	3,457
一般財源	千円	186	267	575
特定財源（国・県・他）	千円	3,071	2,909	2,882
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	母子健康手帳の交付時、全ての妊婦との面接を実施した。面接や電話、うさちゃん計測室等で、専門スタッフが妊娠、出産、育児に関する様々な相談に対応し、切れ目のない支援を提供した。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
妊娠届出時に面接した割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
子育てに不安がある割合（健診アンケート）	%	23.5	23.9	22.6	値が小さいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	1指標
	1指標
	0指標
	指標全体
	効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、専門スタッフが妊娠、出産、育児に関する様々な相談に対応し、切れ目のない支援を提供していく。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） 継続して、母子健康手帳交付時の面接や電話、うさちゃん計測室等を実施し、相談に対応していく。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	出産・子育て応援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-⑨	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども政策課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	こども健康係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	321	名称		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R4	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		終了年度		事業分類	現金等給付事業
	施策	1	こどもの健やかな成長と子育て支援					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型の相談支援と、併せて経済的な支援を一体として実施する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	妊婦・子育て家庭の経済的、心理的負担が軽減され、安心して出産・子育てできる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		妊娠届出時面談実施率	%		100	100	100	100
		乳児家庭全戸訪問実施率	%		100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・出産応援ギフト：妊娠届出時の面談にてアンケート回答後、妊婦1人あたり5万円を支給 ・子育て応援ギフト：乳児家庭全戸訪問時のアンケート回答後、新生児1人あたり5万円を支給 ・妊娠8か月頃に、電話（希望者は面談）で健康状態等の確認（アンケート）を実施 ・子育て支援アプリを令和5年10月より導入し、子育て情報発信、予防接種のスケジューラー等の利用開始	活動指標	単位	R3	R4	R5
		出産応援ギフト支給人数	人		585	966
		子育て応援ギフト支給人数	人		415	746
		妊娠8か月アンケート実施数	人		645	557
		事業費計	千円	0	52,466	90,841
		一般財源	千円		8,319	15,561
		特定財源（国・県・他）	千円		44,147	75,280
		（うち受益者負担）	千円		0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	妊娠届出時の面談及び乳児家庭全戸訪問は対象者全員実施できており、目標を達成した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		妊娠届出時面談実施率	%		100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		乳児家庭全戸訪問実施率	%		99.8	100	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数				
	効果が下がった指標数				
	指標全体	効果が上がった	費用は下がった		
			費用の増減無し		
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年1月から開始された事業のため、令和4年度対象者（遡及分）の費用も令和5年度に入っているため、事業費が増加した。 市民からは子育てをしていく上で必要な経費がかかるため出産・子育て応援ギフトは助かるとの声が多かった。 また、出産や育児に不安や心配を抱える声もあることからニーズに即した効果的な支援ができるように今後も継続して実施する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 必要な支援の調整や関係機関と連絡調整するなどして妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を提供する。 子育て支援アプリについては、教室や講座等の予約機能の追加等を検討していく。
---	---